

2017年

11月18日(土)

14:00~16:00

集合場所: 阪神西宮駅
西側改札(えびす口)

「朝日新聞阪神支局襲撃事件」

▶集合場所: 阪神西宮駅 西側改札(えびす口)

▶参加資料代: 1,000円 ※今回のセミナーは事前申込が必要です。

1987年5月3日憲法記念日の夜、朝日新聞阪神支局(西宮市)が襲われ、2人の記者が死傷しました。

事件が発生した午後8時過ぎ、支局にいた3人の記者は、食事があらかた終わりくつろいでいるところでした。高山顕治記者(当時25歳)がふと気が付くと、数メートルの距離に、黒っぽい目出し帽をかぶった男が立っており、手に持った散弾銃を2回発砲して無言で立ち去りました。高山記者は書類の陰にいて無事でしたが、犬飼兵衛記者(当時42歳)と小尻知博記者(当時29歳)は無数の散弾を浴びました。犬飼記者は重症、小尻記者は亡くなりました。

事件の3日後、報道機関に「赤報隊」の名で犯行声明が届きました。「われわれは本気である。すべての朝日社員に死刑を言いわたす」「反日分子には極刑あるのみである」などと、右翼であることを思わせる内容でした。犯人は逮捕されることも特定されることもなく、2002年に時効を迎えます。この事件の前後に、同じく「赤報隊」を名乗る者による事件が6件発生しましたが、2003年には全て時効となっています。

事件から今年で30年になります。2017年度第4回の人権歴史マップ連続セミナーでは事件を振り返るため、フィールドワークとして朝日新聞阪神支局(2006年建替え)を訪ね、事件の資料室を見学し、支局長の吉岡一さんにご案内いただきます。

また、当日は支局近くにある傀儡師故跡の碑、西宮神社にも訪れ、卑賤視された散所民の活動についても思いを馳せます。

◇コース(予定) ※当日変更することがあります。

14:00 阪神西宮駅 西側改札(えびす口)

14:10 傀儡師故跡の碑

14:15 西宮神社

14:40 朝日新聞阪神支局

ビデオ上映/吉岡支局長による案内
/自由見学

16:00頃 解散



▶お申込み・お問い合わせは…

一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

TEL: 078-252-8280 / メール: blrhyg@extra.ocn.ne.jp